

令和2年度 学校経営の基本方針 (図説版)

小平市立小平第十二小学校 校長 岩井 純一郎

<目指す学校像>

- 「子どもも、大人も、みんなの笑顔があふれる学校」
- 子どもが夢を描き、心弾ませて通う学校
 - 教職員が働く喜びを実感し、誇りをもてる学校

<学校教育目標>

- 明るく元気でたくましい子
- よく考え進んで実行する子
- 互いになかよくする子

<目指す教職員像>

- 児童を心から慈しみ理解し、良さや個性を引き出し、伸ばす教職員
- 自らの課題を認識し、日々研鑽に努めると共に、協働して磨き合う教職員
- 地域を愛し、地域や保護者と共感し、積極的に対話しながら保護者や地域の信頼に応える教職員

学校教育目標達成のための12の施策

<学校経営の理念> 学校経営の目標は、教育目標の達成である。その目標達成へ向けて、学校の努力とともに、保護者・地域から信頼され連携して教育活動を行っていく必要がある。そして、児童が主体的に、友達とともに進んで学習に取り組み、様々な場面で満足感・達成感を味わえる教育活動を目指していきたい。そのために教師は常に教材研究に励み、きめ細やかな支援を行う必要がある。「教育は人なり」と言われるように、まずは、教員一人一人の不断の研修と努力が大切である。また、全教職員の組織的な協力も必要である。学年・学校としてのチーム力で、組織的に問題に対応していくことで学校が安定してくる。教師間の「和」と「絆」を大切に、協力的な人間関係の中で、仕事に対して厳しくあり、組織の一員として十分職責を果たせるような組織をつくり、児童への指導にあたりたい。

1 魅力ある授業の創造 (学力向上1)

- ①分かるまで教える
- ②「読書マラソン」等、読書活動の充実
- ③学習内容の確実な定着
「朝学タイム」「十二小タイム」の確実な実施
- ④ボランティアの活用
- ⑤学年での教材研究等による授業の改善とカリキュラムマネジメントを意識した体制づくり

2 魅力ある授業の創造 (学力向上2)

- ①系統性を考え、低学年から
ペア学習やグループ学習の時間を確保
- ②単元を通じた課題解決的学習に取り組む
- ③ゲストティーチャーやボランティア等、地域の教育力を生かした指導

3 健康・安全教育の充実 (体力向上)

- ①課題解決的学習を導入した体育授業
- ②外遊びの励行と効果的な体育的活動の推進
- ③健康・安全教育、食育に専門的な知識を導入
- ④水泳の安全指導・管理の徹底
系統的な水泳指導の推進
- ⑤小体研と連携した体育科の研究

4 人権意識・規範意識を高める指導 (健全育成)

- ①道徳授業の計画的な実施
- ②十二小学級会スタイルを展開
- ③人権意識を高める指導・環境づくり
- ④学校内外の組織と連携した生活指導
- ⑤誰もが同じ生活指導を推進
- ⑥挨拶の励行
- ⑦整理整頓の指導の徹底と校内美化

5 情報教育の推進 (1~4の施策を推進する基盤)

- ①ICT機器が活用できる環境整備と実践の情報交換
- ②情報モラル教育を進め、情報選択・活用能力を育成
- ③プログラミング教育研修と実践

6 特別支援教育の充実 (1~4の施策を推進する基盤)

- ①特別支援学級との交流
- ②特別支援教育の視点での教育活動の見直し
- ③特別支援教室担当と連携した指導とミニ研修の実施
- ④校内委員会の充実と関係諸機関や家庭との連携

7 キャリア教育の推進 (上記1~4の施策を推進する基盤)

- ①上学年が手本になるよう「十二小の顔」への意識を高める
- ②異学年交流の推進
- ③勤労・奉仕活動の充実
- ④近隣中・高と連携した教育活動の推進

8 研究・研修の活性化 (上記の1~7の主要施策を推進する基盤)

- ①実践的な研究を深める
- ②小体研と連携した体育・体育的活動・健康教育の研究
- ③職員間の授業参観と他地区の研究発表会への参加な実施
- ④研修報告会の実施
- ⑤オリンピック・パラリンピック教育の確実な実施
- ⑥諸研修を通じた実践力・組織力の向上

9 安全点検と環境整備の充実

- ①いつもきれいな学校を目指す
- ②安全点検の確実な実施と環境整備
- ③ボランティアと連携した美化活動
- ④避難所管理運営マニュアル作成

10 学級経営・学年経営の充実

- ①毎週学年会を実施し、情報交換
- ②課題は学年で対応。全職員で情報を共有
- ③SC・講師・TA・特支専門員及び支援員等との情報共有
- ④運営委員会の内容を学年で周知・徹底

11 教職員の働き方改革の推進

- ①効果的な仕事で教材研究の時間の確保
- ②スクールサポートスタッフや学習支援ボランティア等の活用
- ③見直した年間行事予定によるゆとりのある教育活動を展開

12 コミュニティ・スクールの推進 (上記全て施策を推進する基盤)

- ①コミュニティ・スクール準備委員会を設置し、実践的な研究を推進
- ②五中学区の小・中連携教育を推進
- ③関係幼保や小平西高との連携
- ④ホームページを活用し、開かれた学校を目指す
- ⑤家庭・地域と連携した教育活動の推進